

器 09 医療用エックス線装置及び医療用エックス線装置用エックス線管
一般医療機器 画像診断用イメージャ (70036000)

特定保守管理医療機器 レーザーイメージャー DRYPRO MODEL 873

【形状・構造及び原理等】

〈形状・構造〉

画像診断用イメージャー レーザーイメージャー DRYPRO MODEL 873 (以下 DRYPRO 873 という) は、以下のユニットにより構成される。

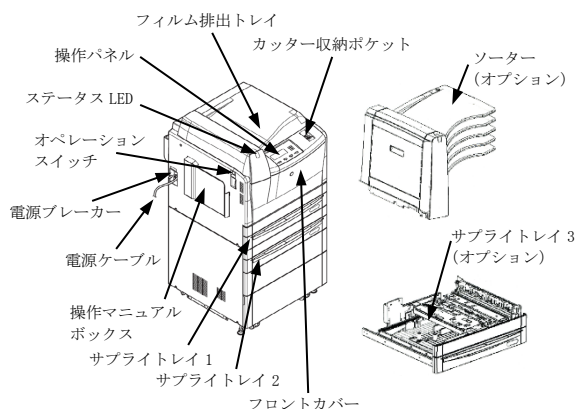
- ・ サプライ部 (トレイ 1、2)
- ・ 位置規制部
- ・ 露光部
- ・ 熱現像部
- ・ 冷却搬送部
- ・ 脱臭フィルター
- ・ 電装部
- ・ 操作部

〈オプション構成品〉

- ・ サプライ部 (トレイ 3)
- ・ ソーター

詳細は取扱説明書を参照してください。

〈各部の名称〉



〈電気的定格〉

定格電源電圧 : 単相 AC 100V
 定格電源周波数 : 50 又は 60 Hz
 消費電流 : 11A

〈本体寸法及び重量〉

外形寸法 (mm) : 幅 599×奥 585×高 1150
 幅 599×奥 585×高 1459
 (ソーター着用時)
 重量 : 約 145kg 以下 (本体のみ)

〈使用環境条件〉

温度 : 15~30 °C
 湿度 : 30~70 %RH (結露なきこと)
 電源電圧 : 単相 AC 100V ±10%

〈原理〉

DRYPRO 873 を施設内の通信網に接続し、通信先からの指令で受信した画像データを自動的にフィルムにプリントして排出する。露光部ではレーザー光でフィルム潜像を形成し、熱現像部で熱現像を行う。電装部は画像データの処理、及び全体の制御を行う。

【使用目的又は効果】

DRYPRO 873 は病院等で使用し、画像診断装置等から受けた画像信号をフィルムにプリントすることを目的としたものである。

【使用方法等】

〈操作方法手順〉

- (1) 使用前
 1. 電源投入前に、電源ケーブル及び外部装置との通信ケーブルが正しく接続されていることを確認する。
- (2) 起動
 1. DRYPRO 873 本体正面の左側面にある電源ブレーカーを ON にする。
 2. 本体正面の左側面にあるオペレーションスイッチを、ビープ音が鳴るまで (1 秒程度) 押し。
 3. ウォームアップが完了すると、操作パネルの表示画面に“プリントできます”が表示されプリント可能となる。
- (3) 終了
 1. 操作パネルの表示画面に“プリント中”と表示されていないことを確認する。
 2. オペレーションスイッチを、ビープ音が鳴るまで (1 秒程度) 押し、終了する。

詳細は取扱説明書を参照してください。

【使用上の注意】

- (1) DRYPRO 873 を使用の際は、設置環境 (温度、湿度、電源定格) を守ること。
- (2) フィルムは DRYPRO 873 に適合した製品を使用すること。
- (3) DRYPRO 873 のアースが確実に接続されていることを確認すること。
- (4) 全てのコード類の接続が確実に、正確に行われていることを確認すること。付属の電源ケーブルは本装置専用のため、他の装置に使用しないこと。
- (5) 装置を使用する前に必ず始業点検を行い、機器が正常に作動することを確認すること。
- (6) DRYPRO 873 に不具合が発生した場合は、電源を切り「故障中」等の適切な表示を行い最寄りの弊社サービス窓口へ連絡すること。
- (7) DRYPRO 873 本体のカバーを開けた状態で使用しないこと。
- (8) 清掃、点検の際は必ず電源を切ること。
- (9) フィルム交換の際にはバリアシート、紙トレイの取り扱いに注意すること。
- (10) トレイを閉めるときには手をはさまないように十分注意すること。
- (11) DRYPRO 873 の傍で携帯電話など電磁波を発生する機器使用は、本装置に障害をおよぼす恐れがあるので使用しないこと。
- (12) DRYPRO 873 は防爆型ではないので、装置の近くで可燃性及び爆発性の気体を使用しないこと。
- (13) プリントしたフィルムは患者情報等を確認したうえで使用する。

本製品には取扱説明書がありますので、必ず確認してください。

- (14) 画像出力後のフィルムは、フィルム排出トレイに長時間（1時間以上）放置しないこと。
- (15) 未使用のフィルム、及び本装置でプリントしたフィルムの取り扱いについては取扱説明書に従うこと。
- (16) DRYPRO 873 を廃棄する場合は、産業廃棄物となる。必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処分業者に廃棄を依頼すること。
- (17) フィルムを廃棄する際は、認定された廃棄物処理業者に処理を委託するか、産業廃棄物として、必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処分業者に廃棄を依頼すること。
- (18) 使用状況によっては画像上に埃や異物が原因と思われるアーチファクトが確認される場合があります。アーチファクトが多くなり画像観察がしにくいと感じられた場合は、フィルム交換時にサブライトレイ内部を清掃してください。また、増設マンモ対応トレイ（オプション）を使用していて上記のような場合は、クリーニングローラーの清掃を行ってください。

詳細は取扱説明書を参照してください。

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

- (1) 水のかからない場所に保管してください。
- (2) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に保管してください。
- (3) 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意してください。
- (4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないでください。

〈保管環境条件〉

温度 : -20~60 ℃

湿度 : 20~90 %RH（結露なきこと）

〈耐用期間〉

6年間（自己認証（当社データ）による）

（但し、指定された使用環境において標準的な頻度で使用され、指定の保守点検と定期交換部品・消耗品の交換をした場合の年数であり、使用状況によっては異なる場合がある）

【保守・点検に係る事項】

- (1) DRYPRO 873 の使用・保守の管理責任は使用者側にあります。
- (2) 使用者による日常及び業者による定期点検を必ず行ってください。点検、清掃の際は粉塵等が飛散する場合がありますので、マスク等の保護具を着用してください。

〈使用者による保守点検事項〉

項目	点検頻度	
QC パターンのプリントと QC パターン結果の確認	基準値設定時	連続3回
	通常時	1週間毎
フィルム排出トレイの清掃	3ヶ月毎	
サブライトレイの清掃	3ヶ月毎	
吸気口/排気口の清掃	6ヶ月毎	
脱臭フィルターの交換	2年毎、又は1万枚プリント毎	
クリーニングローラー清掃	2000プリント毎 (マンモユーザー)	

〈業者による保守点検事項〉

項目	点検頻度	
熱現像部	ガイド清掃	5万枚プリント毎
制御ボックス	吸気口フィルター	5万枚プリント毎
電源ユニット	吸気口フィルター	5万枚プリント毎

詳細は取扱説明書を参照してください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】(*)

製造販売業者：ヨニカミノルタ株式会社

電話番号：042-589-8421



本製品には取扱説明書がありますので、必ず確認してください。